

金 賞

なみにビンタ

太子町立石海小学校 一年

ま と ば か い

とつとりのうみにいったよ
ぼくが、なみにおされて
すなのところに
うち上がったよ
しんださかなみたいになったよ
たつてうしろをみたしゅんかん
でっかいなみが
ブワッとやってきて
かおをビンタされたよ
かいじゅうが
おそつてきたみたいだったよ
めっちゃいたかったよ
みんなわらったよ
ぼくもわらったよ

まほうのて

たつの市立御津小学校 一年

い だ み お

三さいのときは、あまりおぼえていないけど、とうちゃんがかみのけをかわいくしてくれたらしい。
いま、七さいのわたし。ちょっとおとなっぽくしてほしいから、このかみがたにするつてじぶんできめた。きものとかみがた。とうちゃんはいっしょうけんめいせつとしてくれた。七五三のしゃしんはたからものになった。
いっしゅうかんご、おもいきつてばつさりきった。とうちゃんのはさみをきるおとがきらきらしていた。
みじかくなって、みんながにあっているとほめてくれた。でも、わたしは、とうちゃんがよろこんでいることが、うれしくてかっこいいなとおもった。
とうちゃんのは、まほうのて。いつか0さいのいもうとのあたまもかわいくしてあげてね。

あめのひのおさんぽ

市川町立瀬加小学校 一年

岩 木 優 奈

あめのひに
みんなでおさんぽに
いったよ
あさつゆをみつけたよ
はっぱの上に
まあるいあさつゆを
みつけたよ
くものすのところに
ダイヤモンドの
あさつゆをみつけたよ
ちよんとさわったら
ぷるぷるおちたよ
あるいていたら
みずたまりがあつたよ
のぞいたら
わたしのかさが
うつったよ
よくみたら
いろいろうつっていたよ
おもしろいなあ
わらってしまったよ

大すきなぴんちゃん

市川町立瀬加小学校 一年

平 木 小 晴

これからずっとなかよくして、
おおきくなってほしいです。

わたしのいえには、

めだかが十二ひきいます。

一ぴきのなまえは、ぴんちゃんです。

「きをつけ。」

といったら、ぴいんとするからです。

よんだらすぐにきます。

よんでもこないときは、

げんきがないときです。

しんぱいです。

ぴんちゃんのだいこうぶつは、

しよくばんです。

ちいさくちぎつてあげます。

だいすきなあそびは、おにごっこです。

あそびかたは、

まず、ぴんちゃんのすきなようきを

もつてきます。

はこのなかに

ぴんちゃんがいいたらまけです。

ぴんちゃんも

ほかのめだかも

いもうとがおふろあがりに パンツをきる

姫路市立形小学校 二年

中しま しゅう

ぼくのいもうとは、おふろあがりのとき

ぼくのパンツを頭にかぶる。

ズボンをマフラーがわりにしたり。

ぬがしたらほしくてないてしまう。

きさせたらまたえがおになる。

ふくがひつかかっところんでしまう。

でもぼくのふくをきているときが

なんとなく一ばんオシヤレだ。

一ばんかわいいし。

ぼくのズボンがすきなかな。

そんないもうとは、大すきです。

バッタの名前を ぜんぶたべものにしちゃったよ

市川町立鶴居小学校 二年

うめ野 りんか

きょう、わたしはバッタをたいりょうにつかまえたよ。
家のにわでつかまえたよ。
足でふんだら、バッタがいっぱい出てきたよ。

ぎん、金、みどり色の
バッタが出てきたよ。
はこに入らないぐらい
たいりょうにつかまえたから、
数えられなかったよ。

いちばん大きいバッタに
「にくまん」という名前をつけて、
中ぐらいのバッタに「ぎゅうまん」、
いちばん小さいバッタを「おやこどん」にしたよ。

たべものの名前にすると
長生きするかなと思ったよ。

おとうが、

「おもしろい名前やな。」

とわらっていたよ。
元気に大きくそだってほしいな。



ばあばにえがおをとどけてあげる

姫路市立古知小学校 二年

板谷 菜那

わたしのばあばはぶようきで、お母さんとわたしとお姉ちゃんとお兄ちゃんとパパもすごくしんぱいしています。ばあばは、がんと言われるのがすきではないので、いつもぶようきと言っています。体ちようがすぐわるくなつた時に、顔がまっ青になつてしまつた時は、すごくふあんになりました。ばあばのぶようきが早くなおつてほしいなと思いました。今は、元気そうなのでひとあんしんです。ばあばと外ではあそべないけど、歩きに行くことができます。お母さんに、

「ばあばをよろこばせてあげて。」

と言われたけれど、どうやってわらわせたらいのかなど思いました。前のように、虫とりやバドミントンはできません。ばあばの大すきなパッチワークもできません。ばあばが元気になったら、いっしょに畑に行つてくだものやさいをとりに行つたり、キャッチボールをしたりしたいです。

ばあばは、今できないことがたくさんあるけど、元気になったらしいよにしたいことがたくさんあります。わたしは、ばあばが大好きです。

今、一つばあばとやくそくしていることがあります。わたしがかいたうさぎの絵をかばんにしてくれることです。

わたしは、毎日ばあばの手をにぎり、目をして、「パワー。」と言ってパワーをおくると、

「ありがとう。」

と言ってくれます。そしたら、じいじも、「パワーをちょうだい。」

と言うので、じいじにもパワーをあげます。

かぞくみんなで、いっしょうけんめいばあばが元気になれるように、わらわせてあげたいです。

自てん車さん歩

福岡町立八千種小学校 二年

坪内 皇樹

二年生の夏休みに、自てん車にのれるようになった。

お母さんといっしょに、れんしゅうをした。

一日目、こぐれんしゅう。

こけて、ひざが小さな石ころまみれになった。

二日目、またこぐれんしゅう。

むちゅうになつてしていたら、のれるようになっていた。

夕やけがきれいだった。

この前の土曜日、姉と家から近くの田んぼまで、自てん車でさん歩をしてきた。

歩くときと、自てん車にのった時のけしきは、

すこしちがつて見えた。

風がすずしい。

歩いている人には、かんじられないだろうな。

かえりは、強くこいだのですごくしんど

かったけど、
また、自てん車さん歩にいきたい。

草むしりならまかせて

福岡市立八千種小学校 三年

藤 本 初 奈

わたしは、草むしりがとくいだ。
なぜ草むしりがとくいかというところから、
草をむしりながら虫を見ているからだ。
虫さがしをしながら草をひいているので、
時間をわすれてむ中になっている。
気がつくと、
庭がきれいになっている。
お母さんもよろこんでくれるし、
ほめられるとわたしもとってもうれしい。
次は、学校の運動場もきれいにしたい。
先生も草むしりがひつような時は、
わたしに声をかけてください。

手話ダンス

福岡市立福岡小学校 三年

高 橋 七 夏

今日のじゅぎょうは手話ダンス
手話とダンスで手話ダンス
リズムにのって手びょうしをする
パチパチパチパチ
楽しいな
手話をするから声は出さない
手で歌ってダンスする
しゃべらなくても気持ちはずたわる
すごくてびっくり手話ダンス
先生たちから教わって
自分たちでもやってみる
とつてもとつてもむずかしい
やればやるほどむずかしい
もつともつと上手になりたい
耳が聞こえない人とおどってみたい

わらいなき

姫路市立手柄小学校 三年

さいとう 晴子

空を見ると雨がふっていた
はれているのに雨がふっていた
なんだろう
「あつ」
わたしは空がわらいなきしていると思った
「ハハハ」
空のわらいなき
空を見ると雨がふっていた
まだふっている
いつまでないてるんだろう
かなしいのかな
うれしいのかな
おもしろいのかな
ふしぎなわらいなき

あのかいだんを上ったら

播磨高原広域事務組合立
播磨高原東小学校 三年

大林 あい

あのかいだんを上りたい
たまに上れるあのかいだん
音楽のじゅぎょうで上れるが
ようじがないと上れない
先生がいる時や
高学年のわすれ物
とどけに行ったりするぐらい
上ってみたいなあのかいだん
来年は上れるぞ
だって四年生になれるんだもん
かいだんを上ったら
二かいのまどから
ぜったい見るんだ
いいけしき

ひいばあちゃんが死んだ

姫路市立城陽小学校 四年

小川 葵 生

月曜日ひいばあちゃんが死んだ
九十八才で死んだ
すごい生きたな

土曜日は音楽会だった
日曜日ひいばあちゃんに会いに行った
そういえば笑ってくれたな
何か言いたそうだった
声は出せていなかった
ひいばあちゃんの福耳をみんなでさわった
その時笑ってくれたな

月曜日の朝ひいばあちゃんが死んだ
めっちゃ悲しくてむねがぎゅうってなった
なみだも止まらなかった

水曜日お通夜に行った
木曜日おそう式だった
きれいな花をいっぱい入れた
悲しかった

もう会えへんのやな

でも花も食べ物も手紙もあってよかったな

やかれた後ほねになった

バラバラだった

ほねが弱くなっていたから

ネジと鉄板も出てきた

だいたいこつの手じゅつのあと

はしでつついたらパリッとわれる

いっぱい泣いた

みんなで泣いた

笑っている時もあった

明日は家のまわりにいるらしい

まだここらへんにおるのかな

死んだら好きな人に会いに行ける

さとおばちゃんが言った

ひいばあちゃん

会いたい人に

会えるよね

燃える

姫路市立青山小学校 四年

石 野 碧 海

スイミングはぼくの強み
同じ学年のみんなからは

「おお君速いなあ、すごすぎる！」

ってほめてもらえる

うれしいんやけど…

心の底から喜べへんねん

ぼくにはライバルがおる

六年生の男の子

同じぐらいのタイムやと思ってたのに
さいきんめちゃくちゃ速くなったんや

二十秒もはなされて

正直へこむ…

「ああ、おれ、卒業したらやめるねん」

…うそやん

前に

もっと前に

もっともっと前に！

水をかく手がとけるように熱い
負けっぱなしはやっぱいいや！

ぼくを本気にさせてくれる君を

あと六か月

なんとしてでもぜったいに！

こえたるからな



わたしの一番すきな時間

姫路市立船津小学校 四年

福 永 茉 優

「オン・ユア・マークス。」スタート地点
に立って前を見る。

一〇〇メートル先のゴールをにらんでその
まま手を地面につけた。それまでうるさ
かったスタンドもシンとなる。

「セット。」耳をすませて力をためる。し
んぞうがバクバクしている音が聞こえてく
る。

「バーン。」大きな音、ためていた力で一
気に前に出る。

うでをふり地面をける。大きな音のおかげ
かまわりの声は何も聞こえない、自分の必
死な足音が聞こえるだけ。地面も風も空も
全部わたしのものになったみたいだ。

わたしはこの時間がすき。だれにもじゃま
されないわたしだけの時間。

わたしの大好きな場所

たつの市立揖西小学校 四年

井 上 帆 希

だけど

北極星はずっとずっと同じ場所
ふしぎだなあ

わっかだつて

土星だけではなかったんだ
おどろいたなあ

でも

どうして地球にはないんだろう

ふしぎがつまったプラネタリウム

星はかせのプラネタリウム

わたしの大好きな場所

心の海

姫路市立大津茂小学校 五年

八 軒 汐 里

人の心は海である

人は相手の心にもぐろうとする

もぐりすぎてはいけない

もぐらなすぎてもいけない

人の心は海である

心の海に魚はいない

感情がおよいでいるからだ

人の心は海である

心の海の深さは

決まっていない

時間でかわる海もある

言葉でかわる海もある

人の心は海である

相手がもぐつて

自分ももぐる

自分がもぐれば

相手ももぐる

人の心は海だからである

夜空にかがやく星を見たい
そんな時 プラネタリウムに行く
天井いっぱい 星空を
うつし出してくれる
わたしの大好きな場所だ
星の話がたくさん聞ける
わくわくする
星座は八十八こあるって
決まってるらしい
かみのけ座 ハエ座 がか座
オリオン座は
日本では みたらしだんご座
夏の大三角形のデネブは
めんどりのしっぽ
おもしろいなあ
星は見る場所や時間かわっても
行きよく かしこくならんで
いつもくるくるまわってる

ぼくはこたろう

姫路市立広峰小学校 五年

清 原 怜 菜

ぼくはこたろう 柴犬のだきまくら
おかあさんが ぼくをお風呂にいれてくれ
たよ
どんどん水を吸って体重が5ばいくらいに
なってしまった
洗濯機の中で 脱水してもらい ベランダ
で2日間日光浴をしたけれど
なんだか体がまだ重い
乾燥機の中で バック転を何百回も頑張っ
たけど
何日も扇風機の前で過ごしたけれど
なんだか体がまだ重い
ある夜 おかあさんが「手術を開始します」
といった
ぼくはびっくりして 大好きなあの子の顔
を見たけど
「がんばれ」とはげましてくれた
おなかを切って まだ水を吸っていた重い
綿を取り出してもらい
ふわふわの綿をたくさんいれてもらった



ぼくは前よりもムキムキになった
大好きなあの子の布団で ふかふかになっ
た僕のおなかで
たくさん素敵な夢を見て欲しいな

私

姫路市立城乾小学校 五年

矢 野 真希葉

私は私が好きだ
夢中になれる私が好きだ
楽しめる私が好きだ
お姉ちゃんと遊ぶ私が好きだ
音楽をきく私が好きだ
本やマンガを読む私が好きだ
私は私がきらいだ
作り笑いする私がきらいだ
気持ちをかくす私がきらいだ
がまんする私がきらいだ
泣きつけない私がきらいだ
お姉ちゃんにしかえししておこられる
私がきらいだ
好きなところきらいなところ
全部私
好きもきらいもだきしめて生きてゆく

ひかえめに言って鬼

姫路市立谷外小学校 五年

坂本 亜美

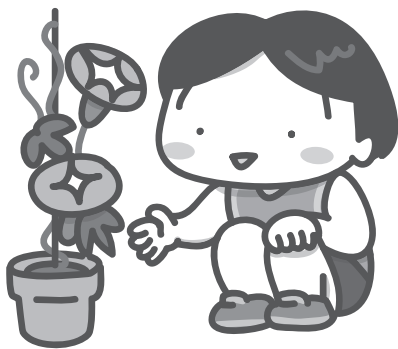
ごはんを食べるのが遅いと
鬼はわたしに言う
「のろま」だね
水筒のお茶を飲まないとい
鬼はわたしに言う
「0点」だね
ゲームをしていると
鬼はわたしに言う
「病気」だね
それでも私にとって大切な鬼
料理をしてくれる
勉強を教えてくれる
育ててくれる
一緒に推し活をしてくれる
私のお母さん
私は鬼に言いたい
本当は優しいお母さん
いつもありがとう

朝顔

姫路市立大塩小学校 六年

小島 来都

家の前に朝顔が咲いた。
なぜだろう種もまいていないのに。
その朝顔は、力強くこちらを向いて咲いて
いる。
水もあげないのに、その朝顔は毎朝咲いて
夕方しぼむ。
まるで、ほくにおはよう、おやすみと言っ
ているようだ。
大きく花を広げ、凛と咲く姿。
どこまでもツルを伸ばし生きようとする生
命力。
鮮やかで太陽の光に映える赤色。
見ているだけで力が湧いてくる。
この朝顔に、いやされ、はげまされた夏が
終わろうとしている。
僕はひと回り成長できた気がする。



ぼくの親

姫路市立形的形小学校 六年

田 中 尊 人

ぼくの親は全然息が合わない
今日は休日
母はゆつくり派 父は旅行派
今からご飯
母は洋食派 父は中か料理派
今から映画
母はドラマ派 父はアクション映画派
それでも息が合うこともある
二人ともバスケが好きだ
でもここでも意見が分かれる
母はジャンプシュート派 父はレイアップ
シュート派
おもしろい位息が合わないのだ
でも二人が一ミリもズレずに
息が合うことがある
それはぼくたち兄弟を思う気持ち
これは言われなくても知っている
いつもやさしくしてくれる
いつも応えんしてくれる
本当に息が合う二人だ

私の推し活

姫路市立勝原小学校 六年

吉 永 音 嶺

「何を一人でニヤニヤしているの。」
家族に言われたって気にしない。
この幸せのため息は止められない。
わたしには大好きなアーティストがいる。
彼らを応援する推し活が今の生きがい
百円ショップで部品を買う。
お気に入りの写真をはさむ。
オリジナルキーホルダーのできあがり
真っ黒のうちわを買う。
愛を込めて名前をかく。
色とりどりのデコレーションをする。
応援うちわのできあがり
専用ノートに写真をたくさん貼る。
プロフィールを書きこむ。
彼らの名前なら難しい漢字でも完ぺき。
推し活をしていると

少しのお小遣いが必要になる時がある。
そんな時は家中をピカピカにして
祖母の家へ行き
祖母を全力でマッサージする。
目的がバレてる気もするけど
両親も祖母も喜んでくれ
私はお小遣いを手にする。
友人との連絡も増える。
テレビ出演や新曲の情報交換する。
実況しながら見ると何倍も楽しい。
推し活を始めてから笑顔が止まらない。
私だけじゃない。両親も祖母も友人も。
推し活というものは
一体何人を幸せにしてくれるのか。
やっぱり彼らは神様のようだ。

選手宣誓

福岡県立福岡小学校 六年

藤岡 梨桜

「赤組代表藤岡梨桜。」

静まり返っている所で声だけが大きくひびきわたる。

そして私は前に走る。

震える重い足を力いっぱいふりしぼって、前に走る。

この日のために、休み時間を削って練習したんだ、頑張らないと。

それに心の中で誓ったんだ、絶対成功させてやると。

そして私は前に出る。

「宣誓。」

さっきより響いた私の声。

「今みんなのパワーが希望の光に輝け、汗、涙、笑顔、二〇二四年最高の傑作のスローガンのもと。」

みんながどう思っているのか不安になる自分がいる。

「令和六年六月一日、赤組代表藤岡梨桜。」
その瞬間響き渡った、沢山の拍手。

すると私は思った。
ああ成功したんだなと。

私はこの事を一生忘れないだろう。
だってそこで見た景色はとても輝いていたから。

